



## お金の使い方を詳しくチェック

予算の使い方が適正であったか、効果があったかなどをチェックするために「決算審査特別委員会」を設置し、令和3年度各会計決算8議案を2日間にわたり審査しました。  
審査の結果、いずれも原案のとおり認定・可決すべきものと決しました。

### 令和3年度一般会計決算

#### 歳入

**問** 市税の収納に関して、収納率も良く、成果が上がっているが、年金などを差押する場合、差押できない部分もあると思うが配慮はされているのか。

**答** 国税徴収法にのっとって差押をする場合もあるが、十分協議をしながら、本人とも対面で相談を受けながら対応している。

**問** 前年度と比較すると、軽自動車税の滞納繰越分のみ収納率が減少しているが、この要因はどのようなことが考えられるのか。

**答** 特別な要因があったわけではなく、軽自動車税については、未納があると車検用の納税証明書が発行されないため、車検時に自主納付が見込めるため、差押などの充当をほかの税目に優先させた結果だと考える。

#### 総務

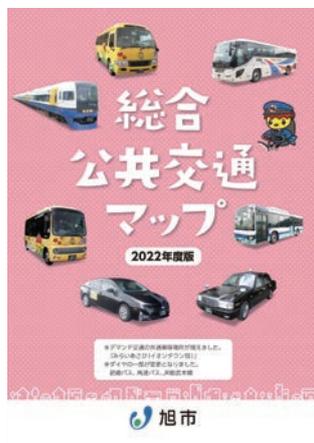
**問** 税の夜間・休日納付窓口について、納付額が少ないが、窓口を開設するメリットはあるのか。

**答** コンビニ納付や電子マネーによる納付など、納付機会の拡大により夜間・休日納付窓口の利用者は年々減少している。現在は、納付の場というよりも納税相談の場として行っているような状況。

況。

**問** デマンド交通運行事業について、まだまだ認知が足りないと思うが、もっと周知するための事業費を計上したほうがいいのか。

**答** 市では市内の公共交通機関を網羅した「総合公共交通マップ」という冊



子を作っている。マップについては、時刻表などが変わったたりするので、基本毎年作成している。

#### 環境

**問** 合併処理浄化槽補助金の令和3年度の実績は。また下水道区域はこの補助金の対象外なのか。

**答** 設置件数は27基で、内訳は5人槽が19基、7人槽が6基、10人槽が2基。この補助金は下水道区域に入っている方は補助対象にはなっていない。

**問** 側溝の汚泥について、他市ではレンガや肥料にして、再利用しているところもあるが、本市の状況は。

## 税の収納状況は

(繰越分を含む)

	収入済額	収納率	前年収納率
個人市民税	31億1670万円	96.4%	95.6%
法人市民税	3億9206万円	97.5%	97.2%
固定資産税	30億5222万円	92.9%	92.3%
軽自動車税	2億3336万円	91.7%	90.9%
市たばこ税	5億4757万円	100%	100%
入湯税	787万円	100%	100%
都市計画税	2億5281万円	92.8%	92.1%
国民健康保険税	18億8299万円	87.1%	85.2%

- 徴収業務として、預貯金、給与、生命保険、年金など525件、26億1635万円の差押を実施。そのうち8877万円を滞納税に充当。
- 収納区分別納付状況は、口座振替による納付が最も大きく44.1%、コンビニ納付が18.7%、夜間・休日窓口による納付が0.1%、その他37.1%。

**答** 再利用するにはそれなりの施設、民間事業者が市内に存在するということが必要であり、費用もかかることから現在はグリーンパークへ埋め立て処理をしている。

児童福祉

**問** 放課後児童クラブについて、長期休暇の時はどのような対応をしているのか。

**答** 夏休みなどの長期休業期間中は、土曜日と同じように午前8時から午後6時まで運営を行っている。

**問** コロナ禍における放課後児童クラブの開設で、感染拡大などで逼迫した状況はなかったのか。

**答** 支援員や児童の感染増により、1か所だけ何日か休所した事態はあった。

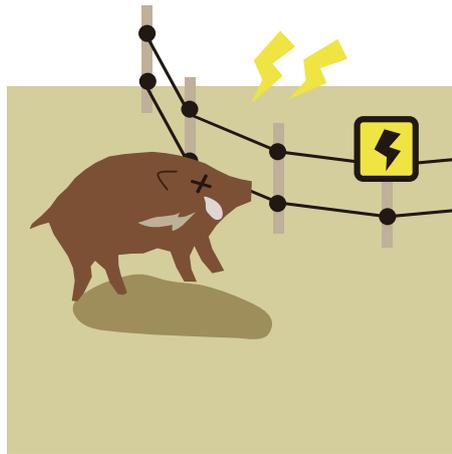


放課後児童クラブで勉強する子どもたち

農業

**問** 有害鳥獣駆除事業について、イノシシの目撃情報がよくあるが、どのくらい事業効果があるのか。

**答** 令和3年度はイノシシを10頭捕獲している。また、電気柵の設置補助金の実績は9件。猟友会と連絡を密にして、目撃情報があれば箱わなやくくりわなの設置をお願いしている。



**問** 畜産環境フレッシュ事業について、実証実験を令和元年から3年まで、いくつかの農場で行ったが、結果が良かったのか悪かったのかわからない。担当課の実感としてはどうか。

**答** 市全体の臭気は今日明日で解決できる問題ではないが、畜産農家には本事業等を有効に活用し、一つ一つ解決してもらいたい。

商業

**問** プレミアム付商品券について、紙で発行すると発行手数料が大きく、また回収や精算の手間も大きいと思うが、例えばスマホのアプリで配れるような、デジタル化の検討はされたのか。

**答** プレミアム付商品券発行事業は、旭市商業振興連合会に委託して行っているところだが、デジタル化という検討は恐らくしていない。しかし、全国的にも事例が出てきているようなので、今後の課題として、商業振興連合会に提案していく。

教育

**問** インターネット環境が整っていない家庭に対して、学習用モバイルルーターを何件貸し出したのか。

**答** インターネット環境がない世帯の児童57人、生徒147人に貸与した。先生方に対してのICT研修はどのような内容だったのか。

**答** 小・中学校ともに、ICTの活用能力、リテラシーに個人差があったので、学校でICT支援員を呼んで、基本的な機械の操作の仕方や写真の取り込み方、授業にどうやってタブレットを生かしていくかなど、その学校に必要な支援を行った。

**問** 育英資金の内容と実績は。

**答** 高校生は県立高等学校の授業料の額ということで月額9900円、大学生等は国立大学の授業料の3分の1以内ということで月額1万4400円を給付している。令和3年度の実績は、高校生17人、大学生57人で計74人。



決算審査特別委員会委員

委員長	宮内 保
副委員長	遠藤 保明
委員	松木源太郎
	片桐 文夫
	島田 恒
	井田 孝
	伊場 哲也
	菅谷 道晴
	常世田正樹